

平成 29 年 5 月 30 日

**平成 28 年度学校法人浪速学院**  
**浪速高等学校・浪速中学校事業報告書**  
(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

I. 法人の概要

①教育方針・校訓・教育目標

○ 教育方針

本校の教育方針は、教育基本法に拠り、新教育の理念に則り、民主的、社会的、平和的、自主的、創造的な人格の確立を目標にし、我が国の精神と伝統の文化を重んじ、祖先の精神を受け継ぐ心を育むことに努める。

即ち、神社神道の精神によって、敬神崇祖の精神を養うと共に道徳心を以て社会の秩序を守ることを基本とし、未来に羽ばたく若者を育てることが本校教育の基調である。

○ 校訓

神社神道の理念である「浄・明・正・直」を校訓とし、生徒指導の基本とする。

○ 教育目標

校訓に基づく全人教育は教育の基本である。同時に生徒の才能と適正を開発し、学力体力の増進を図り、個性豊かで心身ともに健全な次代の日本を担う人間を育成する。

1) すべての生徒に人間性豊かな心を！

校訓のもとに徳性を涵養し、礼儀を重んじ、感謝の心をもつ生徒の育成に努める。

2) すべての生徒に学習の喜びを！

生徒の無限の可能性をひき出すために、基礎学力の充実を図り、主体的に学習させることにより、学習する喜びをもたせるよう努める。

3) すべての生徒に体力と気力を！

健康に留意し、「健康の自主管理」をモットーに体力の向上を図り、頑張りのきく体力、気力をもつ積極性のある生徒の育成に努める。

## ②沿革

1923年（大正12年）	財団法人大阪国学院により「浪速中学校」設立
1948年（昭和23年）	学制改革により「浪速高等学校」と改称
同年	浪速中学校併設
1958年（昭和33年）	「中学校」募集停止
1983年（昭和58年）	「理数科」設置
1985年（昭和60年）	「新総合体育館」竣工
同年	「中学校」募集再開
1989年（平成元年）	全教室「冷暖房」完備
1997年（平成9年）	普通科に「英数コース」、「総合コース」設置
2005年（平成17年）	高校男女共学・コース再編
同年	特進文科コース、英語集約コース設置
2007年（平成19年）	中学校男女共学スタート
2009年（平成21年）	校外宿泊学習施設「多聞尚学館」開館
同年	関西大学パイロット推薦制度指定校
2010年（平成22年）	校外総合運動場「浪速ふくろうスタジアム」竣工
2011年（平成23年）	法人名を「浪速学院」に改称
同年	「浪速武道館」竣工
同年	「新クラブハウス」「新カフェテリア」竣工
2012年（平成24年）	「千早清明寮」竣工
2013年（平成25年8月）	校内人工芝グラウンド 竣工
2014年（平成26年3月）	新校舎「東館」、新東門「天岩屋戸門」竣工
2015年（平成27年8月）	新校舎「中央館」竣工
2016年（平成28年3月）	新学院神社 竣功

## ③設置する学校

・ 浪速高等学校	全日制課程	生徒定員	2280名
		（普通科	2200名）
		（理数科	80名）
・ 浪速中学校		生徒定員	360名

## Ⅱ. 法人会議

### (1) 理事会

#### ①平成 28 年度第 1 回理事会

開催日時 平成 28 年 5 月 31 日（木）午後 3 時 00 分～午後 4 時 30 分

開催場所 学校法人浪速学院 中央館ホール（中央館 1F）

出席者 理事 6 名 監事 2 名

審議事項 ・理事長より「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議」  
について

・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について

- ① 平成 27 年度決算(案)並びに平成 27 年度事業報告(案)
- ② 平成 27 年度決算に係る監査報告及び公認会計士による総括
- ③ 学校自己評価について
- ④ 高校 授業料等値上げ検討経過
- ⑤ 本学院公式WEBサイトの刷新について

・「新校舎・新学院神社 竣功奉祝祭・記念式典」総括 他

#### ②平成 28 年度第 2 回理事会

開催日時 平成 28 年 8 月 26 日（金）午後 3 時 00 分～午後 4 時 00 分

開催場所 学校法人浪速学院 中央館ホール（中央館 1F）

出席者 理事 5 名 監事 2 名

審議事項 ・理事長より「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議」  
について

・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について

- ① 開校 90 周年記念事業 新校舎建設募金の募集状況最終報告について
- ② 学院神社例祭・浪速祭について
- ③ クラブ活動の状況・実績について
- ④ 本校の教育活動について 他

#### ③平成 28 年度第 3 回理事会

開催日時 平成 28 年 10 月 24 日（月）午後 3 時 00 分～午後 4 時 00 分

開催場所 学校法人浪速学院 中央館ホール（中央館1F）

出席者 理事7名 監事2名

審議事項 ・学習寮施設設置のための近隣不動産取得検討について 他

#### ④平成28年度第4回理事会

開催日時 28年12月21日（水）午後3時00分～午後5時00分

開催場所 学校法人浪速学院 中央館ホール（中央館1F）

出席者 理事5名 監事1名

審議事項 ・理事長より

- ① 「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議案件」について
  - ② 役員人事：新役員体制（案）について
- ・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について
- ① 平成28年度中間決算（案）
  - ② 平成28年度中間決算に係る監査報告
  - ③ 寄附行為の変更（任期満了・改選に伴う定数見直し等）について
  - ④ 教育環境整備計画：グラウンド照明改修・近隣不動産物件取得について
  - ⑤ 学則変更（高校 新入生納付金等及び教育課程）について
  - ⑥ 関大コース2年目の成績について
  - ⑦ 平成29年度に向けての中高入試広報活動の中間報告
  - ⑧ 平成28年度 高校修学旅行 総括
  - ⑨ オンライン教材「すらら」の導入について
  - ⑩ 選新学院公式HP完成及びweb出願について
  - ⑪ 中学校テニス部及び高校スケート部の躍進について 他

#### ⑤平成28年度第5回理事会

開催日時 平成29年3月29日（水）午後2時30分～午後4時30分

開催場所 学校法人浪速学院 中央館ホール（中央館1F）

出席者 理事5名 監事1名

審議事項 ・理事長より「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議事項」について

・理事長の総括報告・提議・審議事項を受けての各種報告について

- ① 平成28年度一次補正予算並びに平成29年度予算及び平成29年

#### 度事業計画

- ② 教育環境整備計画：西館「特別 I C T 教室」及び中央館 8F「自学自習設備」新設等
- ③ 平成 29 年度入試総括
- ④ 平成 28 年度大学進学実績
- ⑤ 英語教育：英検の成績推移と今日の水準、オンライン英会話の導入等
- ⑥ 高学館連携「K K プロジェクト」について
- ⑦ 本校入試への w e b 出願導入について

#### ・人事に関する事項

- ① 役員・評議員の予選
- ② 役員・評議員 任期満了に伴う退職慰労金支給について
- ③ 平成29年度管理職・管理補佐職体制
- ④ 専任教員の採用について 他

## (2) 評議員会

### ①平成 28 年度第 1 回評議員会

開催日時 平成 28 年 5 月 31 日（木）午後 3 時 00 分～午後 4 時 30 分

開催場所 学校法人浪速学院 中央館ホール（中央館 1F）

出席者 評議員 20 名 監事 2 名

諮問事項 ・理事長より「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議」について

・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について

- ① 平成 27 年度決算(案)並びに平成 27 年度事業報告(案)
- ② 平成 27 年度決算に係る監査報告及び公認会計士による総括
- ③ 学校自己評価について
- ④ 高校 授業料等値上げ検討経過
- ⑤ 本学院公式 W E B サイトの刷新について

・「新校舎・新学院神社 竣工奉祝祭・記念式典」総括 他

### ②平成 28 年度第 2 回評議員会

開催日時 平成 28 年 8 月 26 日（金）午後 3 時 00 分～午後 4 時 00 分

開催場所 学校法人浪速学院 中央館ホール（中央館 1F）

- 出席者 評議員 20 名 監事 2 名
- 諮問事項 ・理事長より「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議」について
- ・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について
    - ① 開校 90 周年記念事業 新校舎建設募金の募集状況最終報告について
    - ② 学院神社例祭・浪速祭について
    - ③ クラブ活動の状況・実績について
    - ④ 本校の教育活動について 他

③平成 28 年度第 3 回評議員会

- 開催日時 平成 28 年 10 月 24 日（月）午後 3 時 00 分～午後 4 時 00 分
- 開催場所 学校法人浪速学院 中央館ホール（中央館 2F）
- 出席者 評議員 22 名 監事 2 名
- 諮問事項 ・学習寮施設設置のための近隣不動産取得検討について 他

④平成 28 年度第 4 回評議員会

- 開催日時 28 年 12 月 21 日（水）午後 3 時 00 分～午後 5 時 00 分
- 開催場所 学校法人浪速学院 中央館ホール（中央館 1F）
- 出席者 評議員 18 名 監事 1 名
- 諮問事項 ・理事長より
- ① 「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議案件」について
  - ② 役員人事：新役員体制（案）について
  - ・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について
    - ① 平成 28 年度中間決算（案）
    - ② 平成 28 年度中間決算に係る監査報告
    - ③ 寄附行為の変更（任期満了・改選に伴う定数見直し等）について
    - ④ 教育環境整備計画：グラウンド照明改修・近隣不動産物件取得について
    - ⑤ 学則変更（高校 新入生納付金等及び教育課程）について
    - ⑥ 関大コース 2 年目の成績について
    - ⑦ 平成 29 年度に向けての中高入試広報活動の中間報告
    - ⑧ 平成 28 年度 高校修学旅行 総括

- ⑨ オンライン教材「すらら」の導入について
- ⑩ 選新学院公式 HP 完成及び web 出願について
- ⑪ 中学校テニス部及び高校スケート部の躍進について 他

#### ⑤平成 28 年度第 5 回評議員会

開催日時 平成 29 年 3 月 29 日（水）午後 2 時 30 分～午後 4 時 30 分

開催場所 学校法人浪速学院 中央館ホール（中央館 1F）

出席者 評議員 20 名 監事 1 名

諮問事項 ・理事長より「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議事項」について

・理事長の総括報告・提議・審議事項を受けての各種報告について

- ① 平成 28 年度一次補正予算並びに平成 29 年度予算及び平成 29 年度事業計画
- ② 教育環境整備計画：西館「特別 I C T 教室」及び中央館 8F「自学自習設備」新設等
- ③ 平成 29 年度入試総括
- ④ 平成 28 年度大学進学実績
- ⑤ 英語教育：英検の成績推移と今日の水準、オンライン英会話の導入等
- ⑥ 高学館連携「KKプロジェクト」について
- ⑦ 本校入試への w e b 出願導入について

・人事に関する事項

- ① 役員・評議員の予選
- ② 役員・評議員 任満了に伴う退職慰労金支給について
- ③ 平成29年度管理職・管理補佐職体制
- ④ 専任教員の採用について 他

### Ⅲ. 事業の概要

#### 1. 学校改革第一ステージ終幕と新時代の始まり

本法人は、木村理事長を招聘して以来、10 年に及ぶ「浪速改革」を断行してきた。就業規則の改定・新人事制度並びに新給与体系への移行、人材育成・評価システムの導入等も

含めて教職員の人件費抑制施策に踏み切る一方で、入試広報室へ経営資源を投入してきめ細かく生徒増加対応策を展開し、財務体質の改善に取り組んだ。また、教職員の意思結集・一致協力のために学校の組織化と新たなマネジメントの実践し、新しい設備・施設へ積極投資した広報戦略の成功により、経営改善の成果とも呼べる「多聞尚学館」、「浪速ふくろウスタジアム」、「浪速武道館」、「クラブハウス棟」、多聞「千早清明寮」が完成した。

そして25年1月より最大の眼目である新校舎建設計画が本格的にスタートし、校内グラウンド全面人工芝生化を経て、26年3月に西館内部改修（中学校校舎）とともに新校舎「東館」、新東門「天岩屋戸門」が完成した。続いて（旧）学院神社の撤去・移設（岩手県大船渡市）、遥拝所新設、クラブハウス棟「体育教官室」新設を行った。

27年度に入り、新校舎「中央館」竣工に始まり、「トレーニングルーム」設置、「吹奏楽室」「西館音楽室」改修、「第二ボクシング練習場」設置、「中学技術室」設置改修、西館外壁改修、そして三代目御本殿の「学院神社」が28年3月末に竣工した。

28年度には、5月10日の「新校舎・新学院神社竣工奉祝祭」御斎行をもって「浪速改革」第一ステージは終幕した。

これまでの10年間で、今や他校を追い越し、圧倒的に凌駕する燦然と輝く教育環境の整備が最終局面を迎え「新しい学校の形」が完成した。本校が未来永劫に亘って発展するための「浪速の礎」となり、浪速百年の新しい歴史が始まった。改革11年目となる29年度は第二ステージの幕が開き、「時は今」、本格的に教育の中身の更なる充実発展に教職員一致団結して取り組んでいく。

## 2. 教育トライアングルの有効活用

28年度は、25年1月より着手した「浪速改革」の集大成である新校舎建設は全ての工事が完了し、8階建の新校舎「中央館」と三代目御本殿の「学院神社」が本校の新しい象徴として誕生した。5月10日には「新校舎・新学院神社竣工奉祝祭」を滞りなく執り行い、浪速の歴史に残る盛大なる規模で本格的な祭礼の機会を経験し、教職員・全校生徒共々、人生における極めて貴重な時間を共有することとなった。

校外の学習宿泊施設「多聞尚学館」、同じく校外の多目的グラウンド「浪速ふくろウスタジアム」、そして校内の新校舎「中央館・東館」・「学院神社」・「浪速武道館」・「クラブハウス棟」・「人工芝グラウンド」と新たに近隣施設の「至誠寮」を加え、これらの施設によって形成する教育トライアングルを文武両立の拠点として、これからも生徒数の安定確保のために広報活動に有効活用していく。



### 3. 生徒募集

29年度生徒募集状況については、入試広報部の詳細な資料の通り、志願者ベースで高校2,491名・中学128名となり、大阪府下私学において存在感を示した。また、入学者ベースでも高校は856名、中学は91名となり、この結果29年度の在籍生徒数は2,563名（高校2,292名、中学271名）と過去最高を更新し、遂に生徒総数が2,500名を超え、名実ともに府内屈指の大規模校となった。この10年間取り組んできたことが内外に評価されたということであり、「浪速改革」の集大成・成果と考えている。

### 4. 類・科・コース並びにクラス数・生徒数

28年度の全校生徒数は2,496名となり、過去最高の生徒数を更新した。尚、28年度より普通科文理S1コースを新設し、同時に理数科は30年度の学科廃止を前提に募集停止とした。全校生徒に占める女性比率が32.3%と着実に増加しており、この傾向を維持できるよう、より付加価値の高い提供し、しなやかで頼もしい浪速生を育成するためにも、教員には教科指導・生活指導の両面において、緊張感をもって対応する必要がある。

### 5. 学校運営体制

#### (1) 全般

28年度は全校生徒数が2,496名と過去の生徒数となり、常勤講師21名の教員を迎え入れ、教職員総合計183名（前年度対比+12名）で運営を行った。

#### (2) 管理職

28年度の管理職は、前年度に引き続き木村理事長による学院長および高等学校長兼務を筆頭に、竹島中学校長が高等学校副校長および入試広報担当主管を兼務し、宮高校教頭が高等学校副校長および中学校副校長兼務、中村中学校教頭が入試担当教頭兼務、そして宮木事務長が前年度に引き続き業務を継続した。

そして管理補佐職は、飯田高校教頭補佐、出口中学校教頭補佐、吉田事務長代理が前年度に引き続き業務を継続し、今回新たに西田高校教頭補を加えた4名とし、教職員への指導育成を重視して更なる「学校改革」を推し進めていった。

## 6. 学校行事

28年度は、「新春拝賀始業式」「中学校運動会」「陸上競技大会」「浪速祭」「高等学校耐寒訓練」「中学校耐寒金剛山登山」「合唱コンクール」「高校海外語学研修」を例年通り実施した。

「高校海外修学旅行」は第7回となり、今回よりフランスに代わる訪問国としてオーストリア・チェコスロバキアを加え、イタリア、ドイツ、イギリス、アメリカ、沖縄の計6コースで実施し、参加生徒全員が無事に帰阪し成功を収めた。

訪問国は今後、各国の情勢について関係機関からの情報収集に努め、柔軟に対応していく。

高校の「エンパワーメントプログラム」は3年目、また「夏期特別選抜合宿(高校3年生対象)」は石清水八幡宮で2回目を実施し、例年同様十分な効果が得られた。

「中学イングリッシュキャンプ」「中学海外語学研修」は2年目の実施となり、それぞれ結果を詳細に検証して定着化を図る。

## 7. 生徒指導上の目標

28年度も前年度同様、「教科指導」並びに「生活指導」を重要課題と位置づける。

「教科指導」に関しては、より付加価値の高い教育の提供のために教員一人一人の質的向上を目指していく。大学教授との連携による「指導法研究会」や「公開授業」は立ち上げから4年目に入り定着化してきており、更なる「教員の指導力向上」を図り、「浪速の教育力」を確固たるものにする。

「生徒指導」に関しては、従来通りいじめの根絶と公共心の涵養を目標とする。前年度に引き続き外部生徒生活指導員の配置し、電車通学の生徒を中心に登下校時の安全確保と通学マナーの指導を行い、服装、マナー、通学態度の改善を図るため引き続き全教職員が一致協力して取り組んでいく。

## IV. 財務の概要

## 1. 平成 28 年度決算の概要

資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録、監査報告書は別添参照

## 2. 資金収支

収入の部は、生徒数増加による生徒等納付金収入 1,066 百万円（対前年比+61 百万円）、過去最大の受験者数 2,619 名（高校 2,491 名、中学 128 名）による手数料収入 52 百万円（対前年比+4 百万円）、同じく過去最大の入学者数 947 名（中学 91 名、高校 856 名）による入学金前受金収入 185 百万円（対前年比+25 百万円）、補助金収入 1,230 百万円、前年度繰越支払資金 924 万円等で、収入の部合計 3,829 百万円となった。

支出の部は、借入金返済支出において、今年度から始まった返済 76 百万円を支払い、施設関係支出において、近隣土地建物「至誠寮」購入費用、グラウンド照明工事、西館渡り廊下設置工事等で 100 百万円を支払った。資産運用支出において、新たに旅行積立引当 180 百万円、長期借入金返済引当 400 百万円、減価償却引当 100 百万円等の積み増しを行ったうえで、翌年度繰越支払資金は 815 百万円となった。

## 3. 事業活動収支

事業活動収入計 2,413 百万円（対前年「帰属収入」比+31 百万円）から事業活動支出計 1,781 百万円を差し引いた基本金組入前収支差額が 632 百万円となった。そして基本金組入を行った当年度収支差額 468 百万円と前年度繰越収支差額 211 百万円を合算し、翌年度繰越収支差額は 679 百万円となった。

## 4. 貸借対照表

資産の部合計は 13,020 百万円（対前年比+434 百万円）で過去最高を更新した。これより負債の部合計 2,735 百万円を差し引いた本年度の資産総額（差引正味財産）が 10,285 百万円（対前年比+632 百万円・106.5%）となり、これもまた同じく過去最高を更新し、遂に 100 億円の大台に達した。

以 上